



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月5日
上場取引所 東

上場会社名 あすか製薬ホールディングス株式会社
コード番号 4886 URL <https://www.aska-pharma-hd.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆
問合せ先責任者 (役職名) グループ経営企画部長 (氏名) 小林 秀昭 TEL 03-5484-8366
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年11月29日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	32,371	2.3	3,345	9.5	3,312	7.0	2,560	△38.0
2024年3月期中間期	31,648	4.9	3,055	6.1	3,096	3.6	4,129	76.0

（注）包括利益 2025年3月期中間期 2,745百万円（△35.4%） 2024年3月期中間期 4,251百万円（30.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	90.36	—
2024年3月期中間期	145.93	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	88,263	64,192	72.7
2024年3月期	90,745	61,930	68.2

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 64,192百万円 2024年3月期 61,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2025年3月期	—	25.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	0.2	6,700	3.1	6,700	2.7	5,000	△33.7	176.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 -社 (社名) -、除外 -社 (社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	30,563,199株	2024年3月期	30,563,199株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期中間期	2,199,395株	2024年3月期	2,233,957株
-------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (中間期)

2025年3月期中間期	28,334,112株	2024年3月期中間期	28,299,759株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビュー対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は2024年11月12日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料につきましては、決算説明会開始までに当社ホームページ (<https://www.aska-pharma-hd.co.jp>)に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 研究開発活動に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	10
(1) 事業会社の主力品の売上高	10
(2) 臨床開発状況	11
(3) [連結]設備投資、減価償却費、研究開発費	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間においては、経済活動の回復が進む一方、不安定な世界情勢や原材料・資源価格の上昇など、先行き不透明な状況が続いております。また当社グループの中核を占める医療用医薬品事業においては、毎年の薬価改定の影響もあり厳しい事業環境が継続しておりますが、当社グループの事業は医療用医薬品事業や動物用医薬品事業の伸長等により、売上高は前年同期から722百万円の増収となる32,371百万円（前年同期比2.3%増）となりました。また利益面においては、研究開発費等費用の増加はあったものの原価改善が進んだこと等から、営業利益は3,345百万円（同9.5%増）、経常利益は3,312百万円（同7.0%増）と前年同期を上回る結果となりました。一方で親会社株主に帰属する中間純利益については、前年に特別利益として投資有価証券売却益を計上したことの反動により、前年同期から1,569百万円下回る2,560百万円（同38.0%減）となりました。

当中間連結会計期間における当社経営成績は以下のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (百万円)	当中間連結会計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	31,648	32,371	722	2.3%
営業利益	3,055	3,345	290	9.5%
経常利益	3,096	3,312	216	7.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	4,129	2,560	△1,569	△38.0%

セグメント業績は次のとおりであります。

① 医薬品事業

内科、産婦人科、泌尿器科の3分野に注力している医薬品事業は、毎年の薬価改定の影響を受けつつも全般的に堅調に推移しました。製品別にみると、産婦人科領域において子宮筋腫・子宮内膜症治療剤「レルミナ」が5,413百万円（前年同期比4.4%増）と順調に伸長したほか、月経困難症治療剤「ドロエチ」が3,589百万円（同23.3%増）と前年に続き大きく増加しました。さらに内科領域の主力品である甲状腺ホルモン製剤「チラーゼン」が4,052百万円（同1.3%増）、難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」も3,227百万円（同7.7%増）と着実に伸長しました。泌尿器科領域ではLH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リュープロレリン」が2,037百万円（同12.2%減）となりました。

以上の結果、セグメント売上高は28,617百万円（同0.7%増）、セグメント利益は3,825百万円（同4.6%増）となりました。

② アニマルヘルス事業

動物用医薬品、飼料添加物等の製品を販売しているアニマルヘルス事業においては、飼料添加物やコンパニオンアニマル用医薬品を中心に売上高は3,640百万円（前年同期比15.1%増）と前年を大きく上回りました。また増収に伴い、セグメント利益は177百万円（同293.8%増）となりました。

③ その他事業

臨床検査、医療機器等の事業を展開しているその他事業については、売上高は113百万円（前年同期比39.9%増）、セグメント損失は4百万円（前年同期は61百万円の損失）となりました。

※主力品の売上高については 3. 補足情報に記載しておりますので、ご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,481百万円減少し、88,263百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品および有形固定資産が増加したものの、有価証券および現金及び預金が減少したためであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,744百万円減少し、24,070百万円となりました。これは主に、固定負債のその他が増加したものの、未払法人税等、短期借入金および長期借入金が増加したためであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,262百万円増加し、64,192百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から4.5ポイント上昇し72.7%となっております。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ3,033百万円減少し、13,705百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、1,159百万円（前年同期は3,097百万円の増加）となりました。これは主に、法人税等の支払や仕入債務の減少はありましたが、税金等調整前中間純利益および減価償却費の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、1,783百万円（前年同期は1,382百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、2,406百万円（前年同期は2,539百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました「2025年3月期決算短信」の通期連結業績予想からの変更はありません。

（4）研究開発活動に関する説明

当中間連結会計期間における研究開発費総額は、3,093百万円であります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,738	12,705
売掛金	15,579	15,591
有価証券	3,500	1,000
商品及び製品	12,578	11,697
仕掛品	466	590
原材料及び貯蔵品	7,358	8,440
その他	2,922	2,421
流動資産合計	56,143	52,445
固定資産		
有形固定資産	11,263	12,333
無形固定資産	2,877	3,175
投資その他の資産		
投資有価証券	15,654	16,123
その他	4,823	4,203
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	20,461	20,309
固定資産合計	34,601	35,817
資産合計	90,745	88,263
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,060	3,320
電子記録債務	3,295	2,446
短期借入金	4,980	3,980
未払法人税等	2,896	729
賞与引当金	1,151	1,167
その他の引当金	74	—
その他	7,509	6,958
流動負債合計	23,968	18,602
固定負債		
長期借入金	4,505	3,665
退職給付に係る負債	—	21
その他	341	1,782
固定負債合計	4,846	5,468
負債合計	28,815	24,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,848	1,883
利益剰余金	56,372	58,365
自己株式	△3,287	△3,239
株主資本合計	56,130	58,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,790	4,676
為替換算調整勘定	424	755
退職給付に係る調整累計額	584	552
その他の包括利益累計額合計	5,799	5,985
純資産合計	61,930	64,192
負債純資産合計	90,745	88,263

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
売上高	31,648	32,371
売上原価	16,461	16,463
売上総利益	15,186	15,907
販売費及び一般管理費	12,130	12,561
営業利益	3,055	3,345
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	187	148
その他	34	55
営業外収益合計	224	204
営業外費用		
支払利息	21	22
固定資産処分損	3	101
その他	158	113
営業外費用合計	183	238
経常利益	3,096	3,312
特別利益		
投資有価証券売却益	2,314	—
特別利益合計	2,314	—
税金等調整前中間純利益	5,410	3,312
法人税、住民税及び事業税	1,424	602
法人税等調整額	△143	150
法人税等合計	1,280	752
中間純利益	4,129	2,560
親会社株主に帰属する中間純利益	4,129	2,560

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
中間純利益	4,129	2,560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△134	△115
退職給付に係る調整額	△15	△32
持分法適用会社に対する持分相当額	271	333
その他の包括利益合計	121	185
中間包括利益	4,251	2,745
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	4,251	2,745

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,410	3,312
減価償却費	1,376	1,069
退職給付に係る資産負債の増減額	130	80
受取利息及び受取配当金	△189	△149
支払利息	21	22
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,314	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,137	△8
棚卸資産の増減額(△は増加)	△899	△326
仕入債務の増減額(△は減少)	1,586	△1,588
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	67	△457
その他	652	1,463
小計	3,703	3,418
利息及び配当金の受取額	189	146
利息の支払額	△21	△22
法人税等の支払額	△774	△2,381
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,097	1,159
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	—	500
有価証券の取得による支出	△500	—
有形固定資産の取得による支出	△639	△1,560
無形固定資産の取得による支出	△46	△418
投資有価証券の取得による支出	△299	—
投資有価証券の売却による収入	2,883	—
その他	△14	△303
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,382	△1,783
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,298	△1,840
自己株式の増減額(△は増加)	9	△0
配当金の支払額	△226	△566
その他	△24	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,539	△2,406
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,940	△3,033
現金及び現金同等物の期首残高	17,505	16,738
現金及び現金同等物の中間期末残高	19,446	13,705

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金勘定	17,446百万円	12,705百万円
取得日から3ヵ月以内に償還期限の到来する有価証券	2,000	1,000
現金及び現金同等物	19,446	13,705

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業	アニマル ヘルス事業				
売上高						
外部顧客への売上高	28,404	3,162	80	31,648	—	31,648
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	27	27	△27	—
計	28,404	3,162	108	31,675	△27	31,648
セグメント利益又は 損失(△)	3,658	44	△61	3,641	△585	3,055

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△585百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間（自2024年4月1日 至2024年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業	アニマル ヘルス事業				
売上高						
外部顧客への売上高	28,617	3,640	113	32,371	—	32,371
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	38	38	△38	—
計	28,617	3,640	151	32,409	△38	32,371
セグメント利益又は 損失(△)	3,825	177	△4	3,998	△652	3,345

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△652百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

（1）事業会社の主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高
（ 2 0 2 5 年 3 月 期 第 2 四 半 期 実 績 ）

あすか製薬株式会社

（単位：百万円）

品 目 名		前 期 2024年3月期		当 期 2025年3月期		対前年同四半期 増減率（%）
		第2四半期 実績	年間実績	第2四半期 実績	年間見込	
子宮筋腫・子宮内膜症治療剤	レルミナ	5,186	9,906	5,413	10,726	4.4
高血圧症治療剤	カンデサルタン※	4,952	9,593	4,302	8,388	△ 13.1
甲状腺ホルモン剤	チラーヂン	4,000	7,862	4,052	7,861	1.3
月経困難症治療剤	ドロエチ	2,909	6,125	3,589	7,070	23.3
難吸収性リファマイシン系抗菌薬	リフキシマ	2,997	5,864	3,227	6,288	7.7
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤	リュープロレリン	2,321	4,430	2,037	3,938	△ 12.2
月経困難症治療剤	フリウエル	1,663	3,303	1,550	3,026	△ 6.8
黄体ホルモン製剤	ルテウム	876	2,029	1,143	2,341	30.5
抗甲状腺剤	メルカゾール	776	1,521	792	1,526	2.1
高血圧症治療剤	アムロジピン	430	840	400	784	△ 7.0

※ カンデサルタン配合剤を含む

あすかアニマルヘルス株式会社

（単位：百万円）

事 業 分 野 名	前 期 2024年3月期		当 期 2025年3月期		対前年同四半期 増減率（%）
	第2四半期 実績	年間実績	第2四半期 実績	年間見込	
飼料添加物、混合飼料、飼料原料	1,873	4,042	2,275	4,260	21.5
動物用医薬品	1,189	2,487	1,339	2,590	12.6

（2）臨床開発状況

臨床開発状況

（2024年11月現在）

2024年11月5日

あすか製薬株式会社

区分	（開発番号）	一般名	領域・効能	備考
申請中 ※1	（LF111）	ドロスピレノン	避妊	Insud Pharma（スペイン）より導入
PhaseⅢ	（TRM-270）	癒着防止材	術後の腹腔内臓器癒着防止 （消化器科・産婦人科）	東レ（株）との共同開発
PhaseⅡ	（AKP-009）	ルダテロン酢酸エステル	前立腺肥大症	杏林製薬（株）との共同開発
PhaseⅠ／Ⅱ	（AKP-022）	レルゴリクス配合剤	子宮筋腫	武田薬品工業（株）より導入

前回からの変更点

※1 LF111:ドロスピレノンにつきましては、承認申請を進めております。

（3）〔連結〕設備投資、減価償却費、研究開発費

1. 設備投資（有形固定資産及びソフトウェア）

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
第2四半期	399 百万円	370 百万円	1,677 百万円
通 期	1,256 百万円	1,540 百万円	(予) 2,789 百万円

2. 減価償却費

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
第2四半期	1,527 百万円	1,376 百万円	1,069 百万円
通 期	3,127 百万円	2,662 百万円	(予) 2,301 百万円

3. 研究開発費

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
第2四半期	1,768 百万円	2,410 百万円	3,093 百万円
通 期	4,227 百万円	4,728 百万円	(予) 5,875 百万円